

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 5 年 4 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 5 年 4 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 5 年 4 月 30 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【物価高や人手不足等の影響が続くものの、個人消費の需要回復等に伴い、全体の業況は改善傾向にある】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-17.6（前月-23.1、前年同月-30.9）で、前月比 5.5pt 好転した。個人消費を中心とした需要回復等に伴い、多くの業種で改善がみられるものの、物価高や人手不足等の影響が続いており、緩やかな改善に留まっている。

【製造業】

業況は-14.7（前月-18.6、前年同月-22.6）と前月に比べ 3.9pt 好転した。資材調達難の改善等に伴い受注は回復傾向も、原材料価格や燃料費等の高騰による利益圧迫が続いている。

【建設業】

業況は-17.6（前月-29.5、前年同月-38.2）と前月に比べ 11.9pt 好転した。リフォーム等の小口受注が増加し業況は改善されたが、建築資材の高騰や人手不足等が続いている。

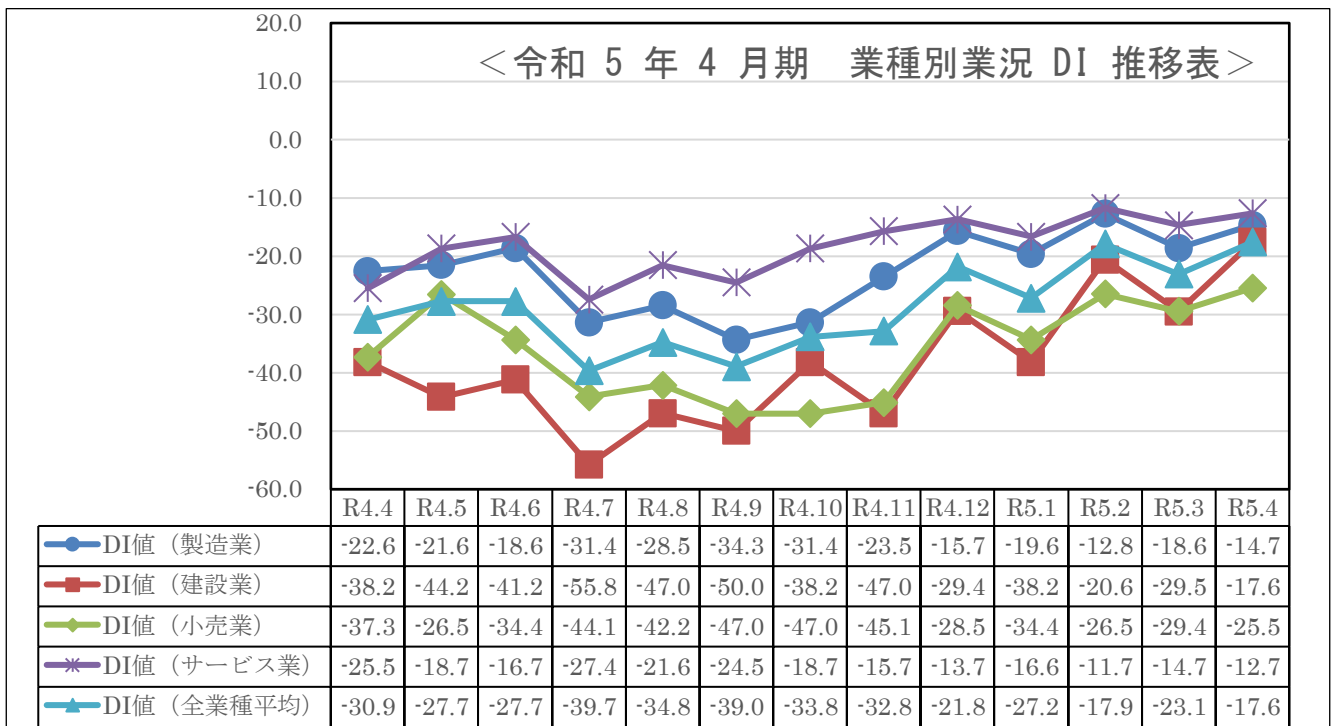
【小売業】

業況は-25.5（前月-29.4、前年同月-37.3）と前月比 3.9pt 好転した。仕入れ価格や経費高騰の影響は続くものの、人流回復や省エネ対策に伴う個人消費の回復等に伴い業況改善がみられる。

【サービス業】

業況は-12.7（前月-14.7、前年同月-25.5）と前月に比べ 2.0pt 好転した。行動制限の緩和に伴う国内人流や海外観光客の回復等により、旅館業を中心に業況は改善傾向にあるが、光熱費等の高騰や人手不足による影響を受けている。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：名波・増田〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・食料品製造は平時に戻りつつあり販売機会が増えており、改善への期待が大きい。（伊豆）
- ・資材調達難は改善も価格高止まりが続き、賃上げ原資確保への不安がある。（富士駿東）
- ・燃料費等の高騰が続いているが、上昇したコストの価格転嫁も少しずつ進んでいる。（中部）
- ・受注は増加しているが人手不足で、休日も稼働している事業者がある。（中東遠）
- ・繊維工業では売上増も、仕入単価等も上昇しており大きな改善には至っていない。（西遠）

【建設業】

- ・リフォーム受注等が多い状況であるが、人手が不足し、材料高の影響も大きい。（伊豆）
- ・一部資材において調達の滞りがあるものの、新築やリフォーム等の需要が徐々に増加している。（富士駿東）
- ・今後は台風 15 号の復旧工事の本格化に期待しているが、コスト高を価格転嫁できず利益圧迫されている事業者も多く、業績の二極化が進んでいる。（中部）
- ・リフォーム案件が多いが、職人が不足し、かなり忙しい状況である。（中東遠）
- ・住宅基礎工事関連で多くの受注があり、今後数カ月間は多忙な状況が続く。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

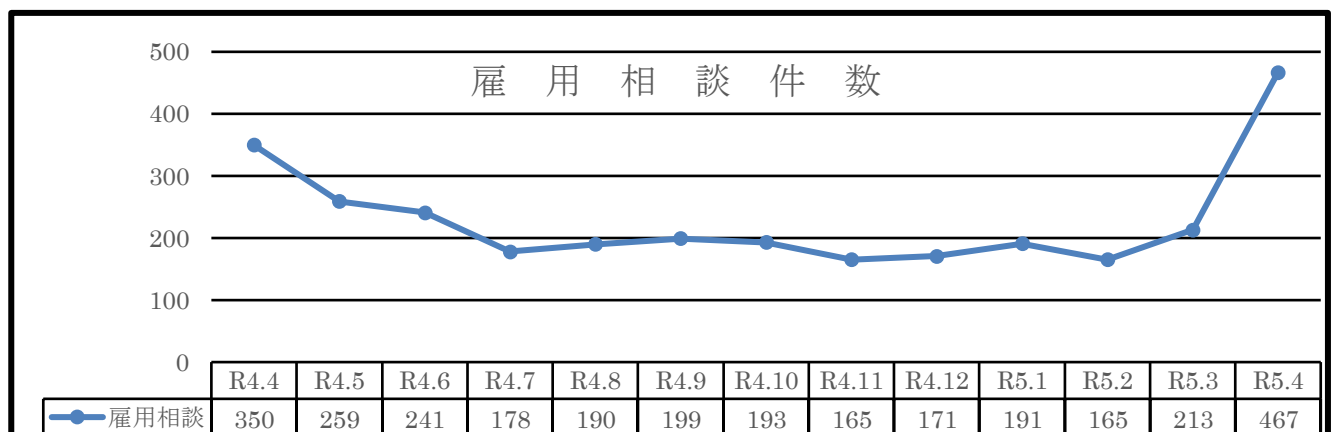
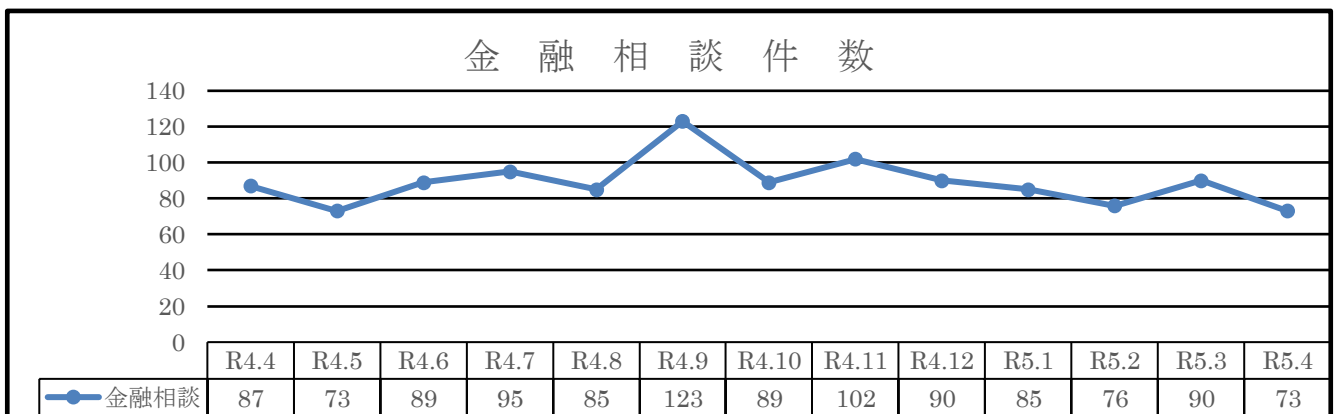
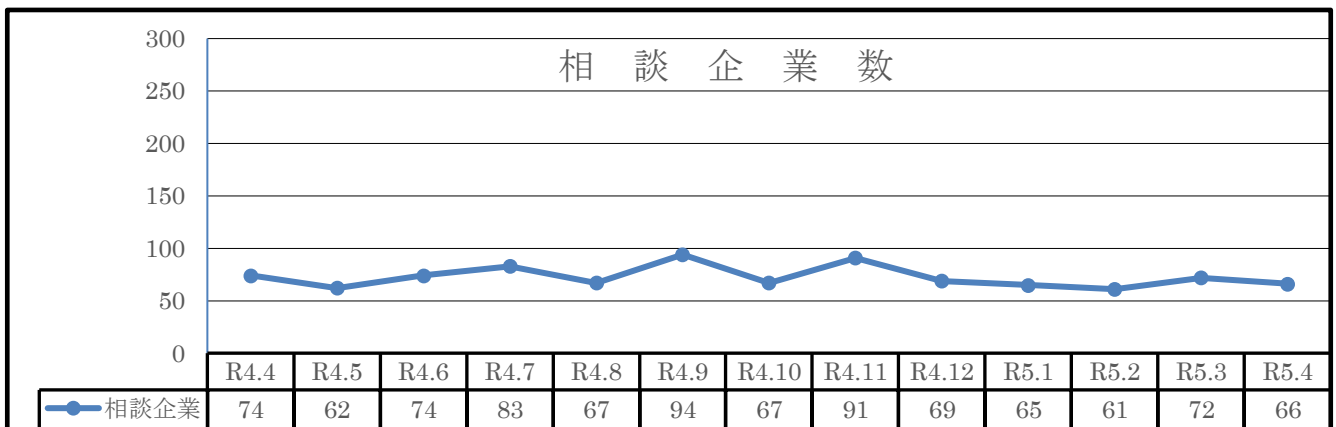
- ・キャンプ等の行楽需要増加による食料品等の購買増がみられる。（伊豆）
- ・価格転嫁を行う事業者が増えているが、部分的な転嫁に留まっている。（富士駿東）
- ・水産関連の食料品小売業では、特産品の桜えびの豊漁により売上が増加傾向にある。（中部）
- ・電気代値上げにより省エネ家電が好調であり、今後は夏に向けたエアコン需要の増加にも期待したい。（中東遠）
- ・テナント店では、人出も戻ってきており売上も回復しつつある。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・新型コロナの行動制限が緩和され、平日も予約は好調であるが、コロナ禍で一時的に辞めてもらった従業員が戻らず、全館での営業ができない状態である。（伊豆）
- ・GWは観光需要に関連する事業者は多忙であった。外国人観光客が増え、キャッシュレス対応機器の導入を検討する事業者も増えてきている。（富士駿東）
- ・洗濯業では光熱費等の高騰の影響が大きく、業界全体で伸び悩んでいる状況である。（中部）
- ・新年度や衣替えの時期のため、売上は好調であるが、経費の増加により利益が圧迫されている。（中東遠）
- ・理美容業では物価高騰の影響から節約志向が高まり、普段の行きつけではなく、価格が安い店舗へと顧客が流れている傾向にある。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和5年3月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	66	72	-6
【金融相談件数】	73	90	-17
新規融資(借換えを除く)	47	40	7
既存債務の借換え	24	46	-22
借入れ条件変更	1	2	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	1	2	-1
【雇用相談件数】	467	213	254



【金融相談】

金融相談件数は73件と前月(90件)に比べ17件減少した。前月に続き、物価高騰等の影響や新型コロナウイルス関連融資の返済開始に伴い、資金繰り対応等に関する相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・コロナ特貸の借替により、元本返済猶予の延長を利用する事業者が増加している。(伊豆)
- ・各種補助金の事業実施に向けた資金確保に関する相談に対応した。(富士駿東)
- ・物価高騰による資金繰り悪化で、運転資金に関する相談があった。同様の相談が今後も増えることが見込まれる。(中部)
- ・コロナ特貸の据置期間が終わり、返済開始に伴う不安の声が事業者からあった。(中東遠)
- ・コロナ禍で下がった売上が戻らず、返済が困難になりつつある事業者が見られる。キャッシュレス化に伴い入金サイトが長くなり、資金繰りが厳しい様子である。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、467件と前月(213件)に比べ254件増加した。労働保険の年度更新に伴う諸手続きや、人手不足への対応に関する相談が多くあった。

<経営指導員コメント>

- ・労働保険の年度更新に伴い、雇用保険の資格取得や喪失の相談が増えている。(伊豆)
- ・コロナ禍でやむを得ず解雇した人員が元に戻らず、人手不足の声が聞かれる。(富士駿東)
- ・雇用保険や従業員への福利厚生に関する相談が増加している。(中部)
- ・労働保険の年度更新事務手続きについての相談及び新年度における従業員の入退社に関する手続き等の相談が多くあった。(中東遠)
- ・求人を出すに応募がなく勤務シフトが厳しくなり、このままでは事業の継続にも関わるとの声も聞かれる。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・4/2(日)に「黄金崎さくらまつり」が開催され、近年では客入りは多かった。(西伊豆町)
- ・4/22(土)～23(日)に愛犬家をターゲットにした「御前崎シーサイドピクニック 2023」を開催し、2日間で延べ4,000人以上の来場があった。飲食や物販の出店数も過去最多であり、コロナがようやく明けてきたことを感じさせた。(御前崎市)
- ・4/16(日)にコロナ禍で開催を見合わせていた「あさばの軽トラ市」を開催した。3年振りであったため、11店と小規模ではあったが隣接する商業施設の創業市とタイアップし同日開催したことにより、約2,000人の来場者があった。人気商品の完売等もあり盛況であった。(浅羽町)
- ・4/29(土)より湖西・新居観光協会にて、GW限定で「うなぎつかみ&かば焼き体験」が開催された。子供たちがうなぎを捕まえ、かば焼き作りを体験し、最後は美味しく食べていただくイベントである。他にも、「さかなつかみ体験」や「しらすの釜揚げ体験」等のイベントも同時開催された。(新居町)